

III. DOC-S

デフォルト値の意味と取扱いについて

目次

- 1.デフォルト値の意味と扱い
- 2.S造耐震診断で必要な設定
- 3.新機能を用いた比較
- 4.よくある問い合わせ

デフォルト値の意味と扱い

基本原則

DOC-SはBUS シリーズの1つのため以下の設定をデフォルトとしております。

1.重量拾いなどは設計計算の値で計算

→例)鉄骨重量割増率

2.RC/SRC造建物などの剛床仮定が成立する建物が基本

→S造耐震診断が取り扱う建物は剛性が柔らかく、剛床仮定が成立しないもしくは検討が必要な場合がある。

3.解析モデルは立体解析が基本

→各種指針の計算例が節点振り分け法などの平面解析が採用。

4.安全側となる設定(あいまいな場合は下限値)

必要の応じて入力値を見直す必要があります。

【マニュアル】

概要編マニュアルP14 「1.4.4 入力省略時に設定される値と取り扱い」